

東京ドーム(9681)



－ 今期は減価償却費の増加で二桁の減益予想 －

東京ドームが15日に発表した2018年1月期の決算は売上高が前期比4.6%減の837億円、営業利益が同9.5%減の114億円と減収減益となりました。売上高は主力の東京ドームがコンサートイベントの増加などで増収となったものの、東京ドームホテル札幌の営業終了や新館建設に伴う熱海後樂園ホテルのみさき館の営業終了などにより減収となりました。また、営業利益はこうした減収の影響で減益となっています。

2019年1月は売上高が前期比0.1%増の838億円、営業利益が同11.3%減の101億円となる見通しです。売上高は黄色いビルの一部リニューアルに伴う営業停止による減収を、改修工事により前期に減収となった松戸競輪場とスパラクーアの通年稼働による増収でカバーすることで前期並みの水準を確保する計画ですが、営業利益は減価償却費の増加(20億円)などによるコスト増により二桁の減益となる見通しです。

当社は、本書の内容につき、その正確性や完全性について意見を表明し、また保証するものではありません。記載した情報、予想及び判断は有価証券の購入、売却、デリバティブ取引、その他の取引を推奨し、勧誘するものではありません。過去の実績や予想・意見は、将来の結果を保証するものではありません。提供する情報等は作成時現在のものであり、今後予告なしに変更又は削除されることがございます。当社は本書の内容に依拠してお客様が取った行動の結果に対し責任を負うものではありません。投資にかかる最終決定は、お客様ご自身の判断と責任でなさるようお願いいたします。本書の内容に関する一切の権利は当社にありますので、当社の事前の書面による了解なしに転用・複製・配布することはできません。内容に関するご質問・ご照会等にはお応え致しかねますので、あらかじめご容赦ください。

マネックス証券株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第165号
加入協会: 日本証券業協会、一般社団法人 金融先物取引業協会、一般社団法人 日本投資顧問業協会